様式３(2020.08改)

作成日　令和2年10月13日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600424
事業所名	グループホームはなえくぼ江南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	3月以降、地域交流の一端である実習受け入れや小学校の街探検、ボランティア等の受け入れは、そのものが中止となり、受け入れ側であるホームの体制にかかわらず、交流は無いに等しくなっている。夏場は熱中症の危険もあり、ホームにこもりがちになっていたが、10月からは近隣散歩等の野外活動に体制をシフトしている。今後も今まで通りの生活ができるように、地域との連携を考えて行く方向性である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	1月までは通常通り会議を開催し、3月以降は書面開催で行っている。2ヶ月毎に年6回の開催に変わりはない。開催月に資料を作成しメンバーに配布、意見を募って議事録を作成、次回開催月に資料と共に、意見や提案についての回答やホームの見解と方針を議事録として送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	連携してきた会議や研修会・勉強会等は全て中止になっている。現在はコロナウイルス感染症に係る事項で、電話での連絡・相談の機会が増えている。運営推進会議開催方法についても、事前に話し合い、適切に連携が取れている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍による面会停止や自粛について、文書での通知を行い、承諾と理解を得るとともに、コロナ禍の対策・対応に係る意見を聴取し、運営に反映させている。「1行日記」の継続で、利用者の毎日の様子を記録し、毎月定期的に情報提供を行い、家族の安心に配慮していることもあり、現在も問題なく良好な関係にある。本人と家族の気持ちに寄り添い、10のルールを定め、面会を可能にしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

市の担当者と協議し、3月以降は書面開催で行っている。2ヶ月毎に年6回の開催に変わりはない。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										